

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市 目標】

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

○授業づくり(日々の授業・校内研究)、カリキュラム編成と特別支援教育を核に据えて、児童が関心をもって学習に臨めるような授業改善を進めることで、学ぶ力の向上をめざす。

【現状と課題】

- 視点1 活用する力・記述することに課題があり、自分の考えや思いを明確にして、表現する力が弱い。
- 視点2 生活規律を守り、規則正しい生活を行う基盤や、家庭学習の習慣が確立しにくい。
- 視点3 特別な支援を必要とする児童が多く、達成感を味わえるような経験が十分ではない。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関心をもって聴いたり話したりできる授業づくり ・子どもの「聴きたい、話したい」という意欲と、教師の付けたい力(目標)が重なるような指導計画(手だて・支援など) ・目的や意図のある交流時間と、思考を深めたり、意欲を高めたりする活動の研究・実践。 ○基礎学力の定着 ・部会を中心に読書・作文指導の計画、伴小タイム(朝学習)を活用した実践、 ・がってんプリントや辞書の活用、動作化などを多く導入した子どもの語彙数を増やす取組。 ・家庭で復習や予習に継続的に取り組めるように「家庭学習のすすめ」の作成と活用。 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日々の授業改善とわかる授業づくり ○道徳教育、人権教育、特別支援教育を大切にした学級経営 ○日本語教室・通級指導教室との連携。 ○別室登校児童のカウンセリング、学習の指導や学力補充。 ○道徳教育の推進(年に1回の学習参観で公開する) ○子どもの自主的・実践的な姿勢を大事にした特別活動の実践(委員会やクラブ活動の在り方の探究) 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知・徳・体のバランスの取れた学校組織づくり ○学校組織での、先を見通した計画的な教育課程の編成と授業研究会の開催。 ○OJTを活用して、継続的に研修を実施する。 ○全職員でのカリキュラムマネジメントの検討と実践(本校の強みと弱みを共有して、取組を計画、遂行する)

その他 取組事項

- ・学校評価(児童・保護者・教師・学校評議員)
- ・学力向上策の細部検討・修正(5月・10月)
- ・評価規準に基づいた指導と見直し(5月・10月)
- ・校内研究による授業の実践と協議

取組の評価

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体		児童対象の学校評価で「学校が楽しいですか。」が70%以上をめざす。		
視点1	子どもの「聴きたい、話したい」という意欲を大切に、教師の付けたい力(目標)が重なるような指導計画(発問・手だて・支援など)	児童アンケートで「あなたは、学習をして『聴きたい、話したい』と思った」が70%以上をめざす。		
視点1	家庭で復習や予習に継続的に取り組めるような自主学の進め方の工夫(家庭学習のすすめの活用)	保護者・児童対象の学校評価で「家庭学習をしている」が全学年70%以上をめざす。		
視点2	子どもの自主的・実践的な姿勢を大事にした特別活動の実践(全校集会や校内放送などで、すべての委員会やクラブの発表の場を設ける)	学期ごとの児童のふり返りで、「～をがんばって取り組めた。」「次は、こんなことをしてみたい。」など、自分のがんばりや次に向けて前向きな言葉を表現する児童が全体の60%以上をめざす。		
視点3	学校組織での先を見通した計画的な教育課程の編成と授業研究会の開催。	職員対象の学校評価で「研究の方向や内容は明確で、推進体制は適切であったか。」が70%以上をめざす。		
視点3	組織的・継続的に研修を実施する。	職員対象の学校評価で「自己教育力を高めるために、研修や研究会に前向きに取り組めたか。」が70%以上をめざす。		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--